

# 災害看護でまちづくり

神原 咲子

神戸市看護大学 災害看護・国際看護学 教授  
高知県立大学 特任教授  
(一社) EpiNurse 代表理事  
(一社) 日本災害看護学会 理事 防災学術連携  
体委員

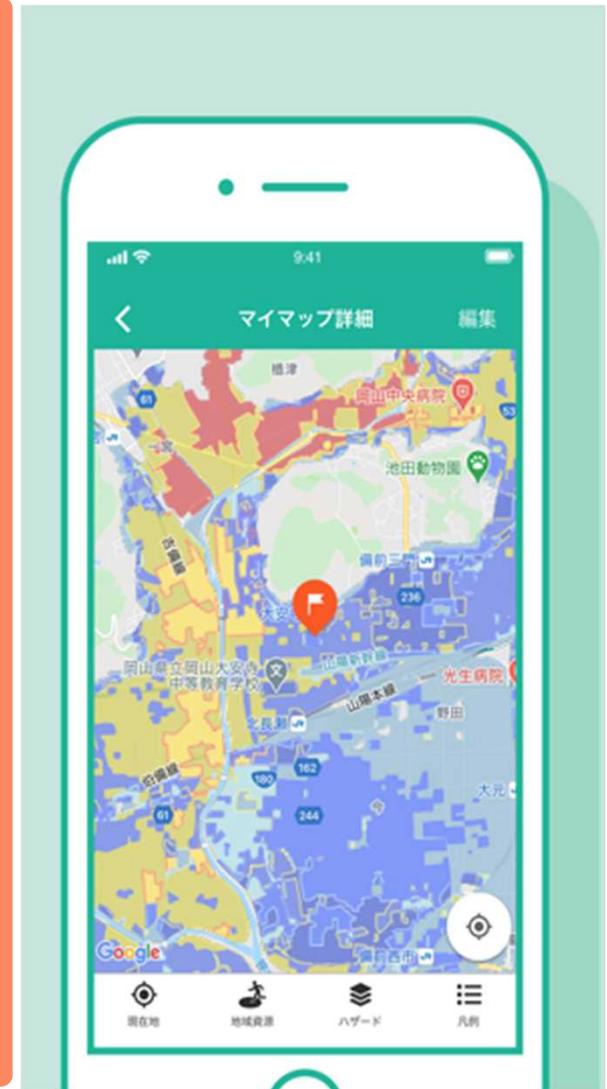
3 すべての人に  
健康と福祉を



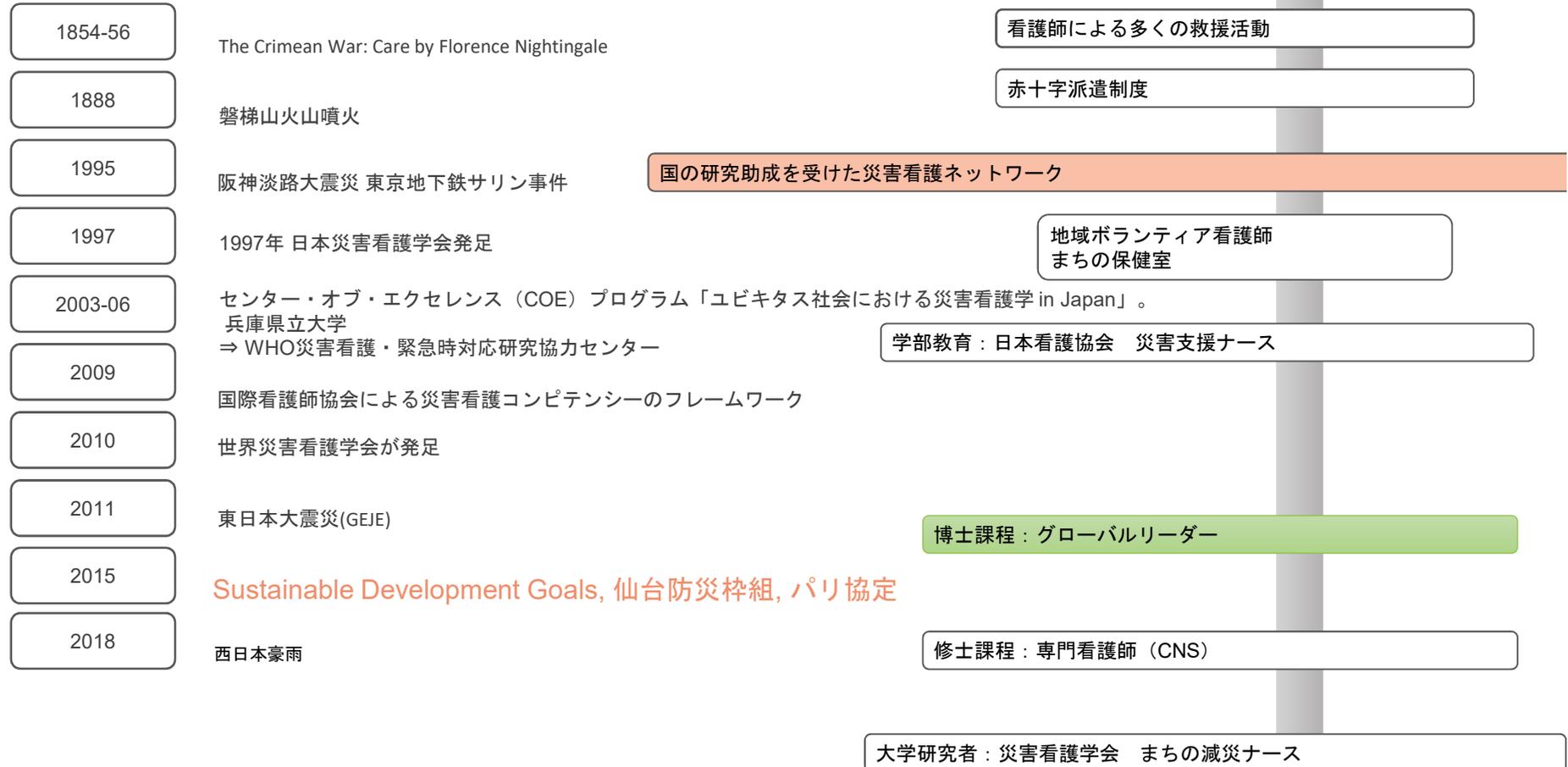
5 ジェンダー平等を  
実現しよう



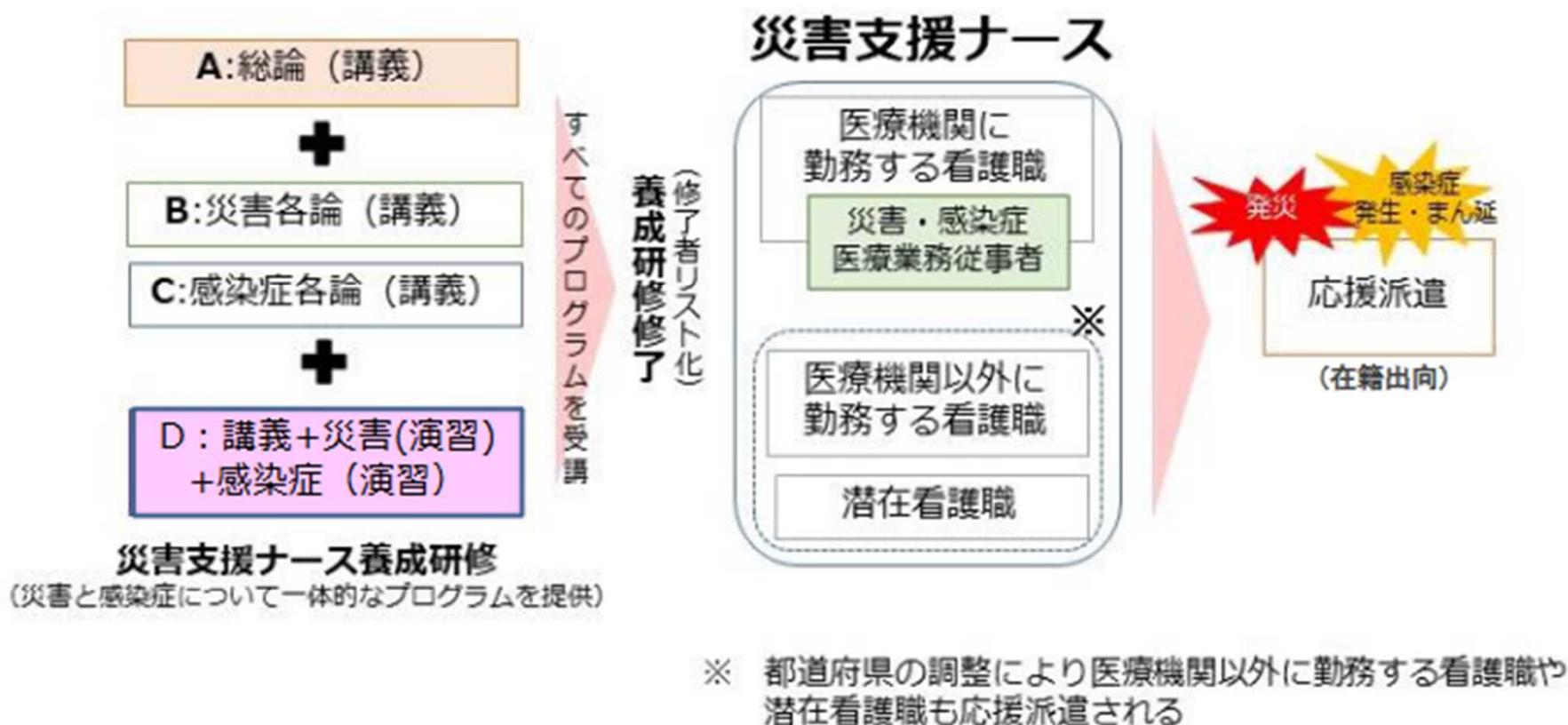
11 住み続けられる  
まちづくりを



# 災害看護の歴史



# 自然災害、感染症支援に係る看護職の 応援派遣体制の概要



# This is Mentored by...



Florence  
Nightingale  
Mother of Modern  
Nursing



Hiroko  
Minami  
First ICN President  
from Asian Country



Aini Ahmad  
Former Vice  
President of  
Malaysian Nurses  
Association,  
University of  
Makaya



Tara Pokhrel  
Former President  
of Nepal Nurses  
Council, Nursing  
Association of  
Nepal



Achir Yani  
Hamid  
University of  
Indonesia, Former  
President of  
Indonesian Nurses  
Association

災害看護 = 基礎看護 (ケア) × グローバルヘルス



# キーワードは“地域と共に創る”



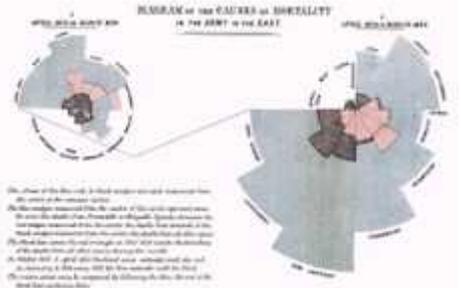
災害がおきたら必要なこと

- a. 災害から逃れる
- b. いのちと健康を守る
- c. 取り巻く生活環境を整える



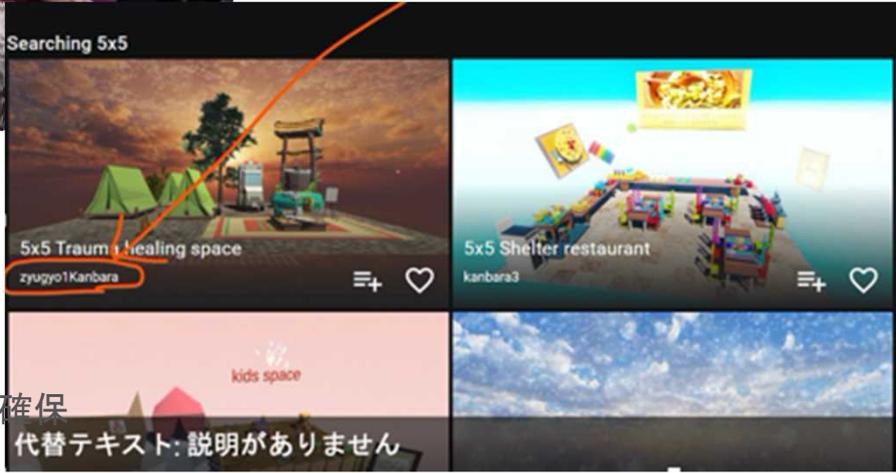
10分でわかる世界史Bの流れ！近代ヨーロッパ ⑧ ～ロシアと東方問題～

フローレンス



## 支援者は . . . . .

- 応急手当 &
- メンタルヘルスケア
- 食事・トイレ・お風呂などの確保



代替テキスト: 説明がありません

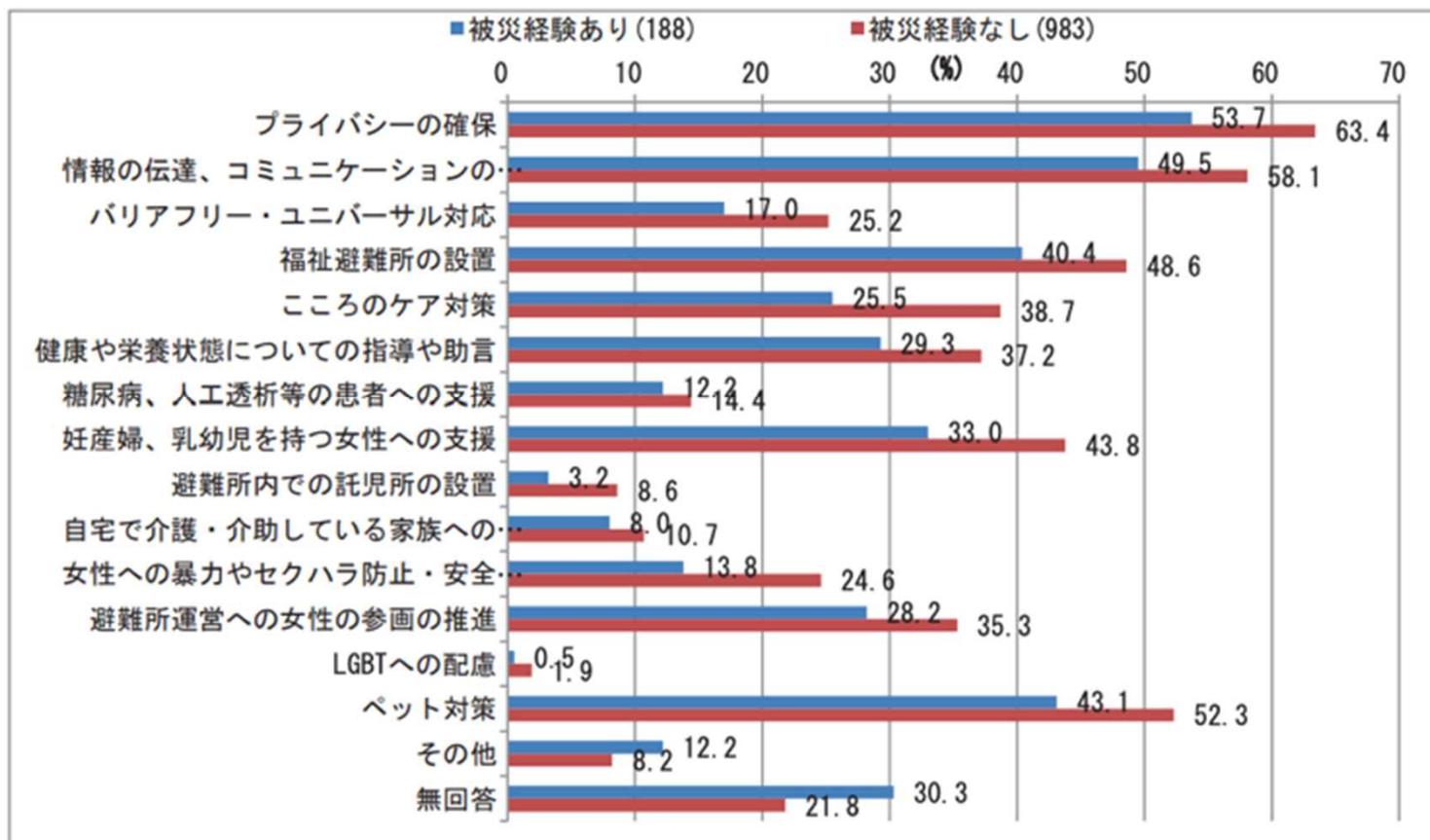
災害看護は、地元のヘルスプロモーションの再確認

「人々が自らの健康をコントロールし改善できるようにするプロセス」

健康の定義である身体的、精神的、社会的にwellbeingな状態に到達するには

=個人や集団が望みを明確にし、それを実現するためのニーズを満たし、環境を適応させること。

図表 25 被災経験の有無別、避難所運営に関する手引き・マニュアルに記述がある市町村の比率



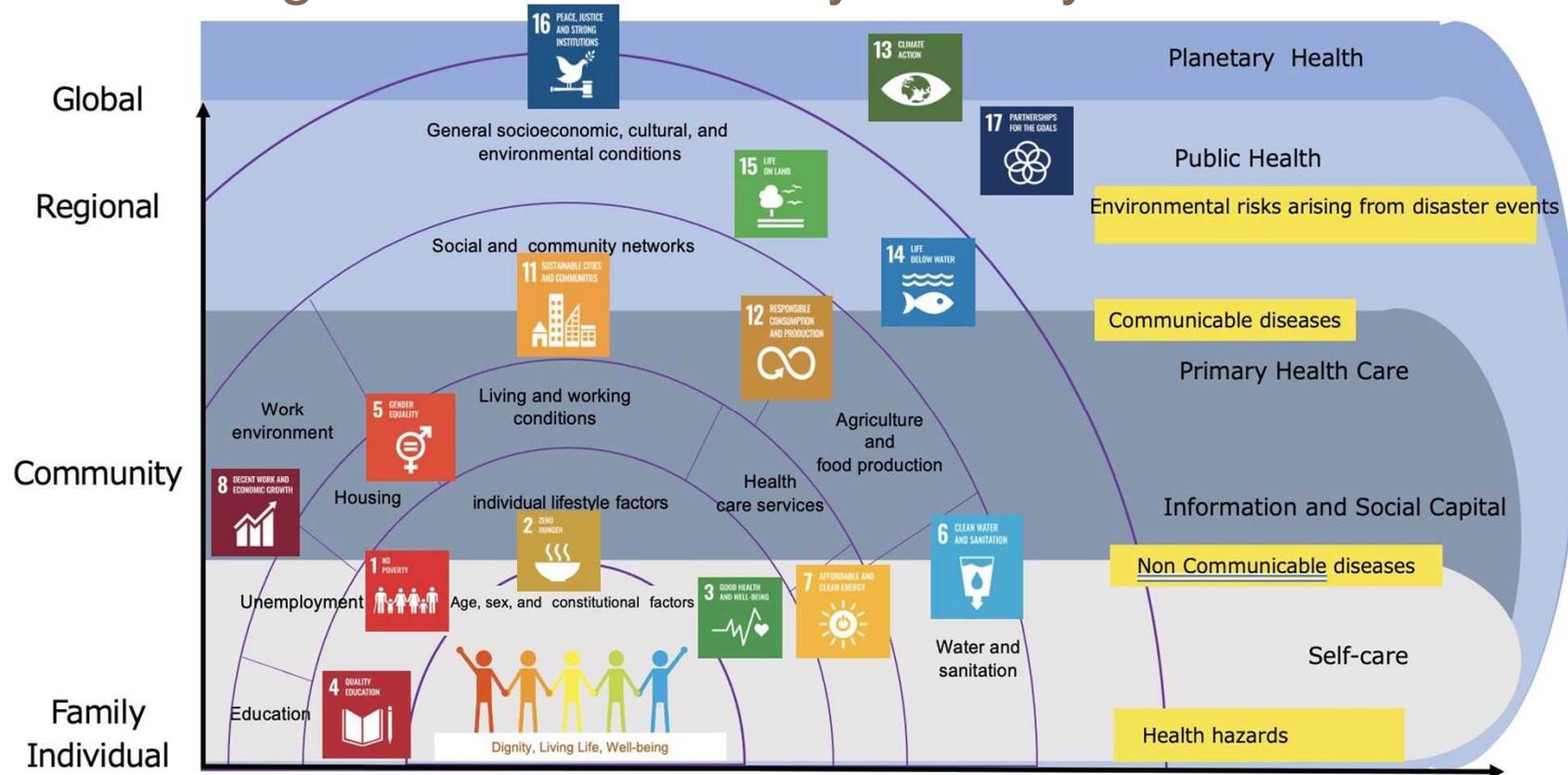
全国の自治体の避難所ガイドラインに掲載されてる割合

出典)「2017年度女性・地域住民から見た防災・災害 リスク削減策に関する調査」報告」

Figure 3.1 health care matrix on Disaster Risk Reduction



# Nursing Greatness in Every Country



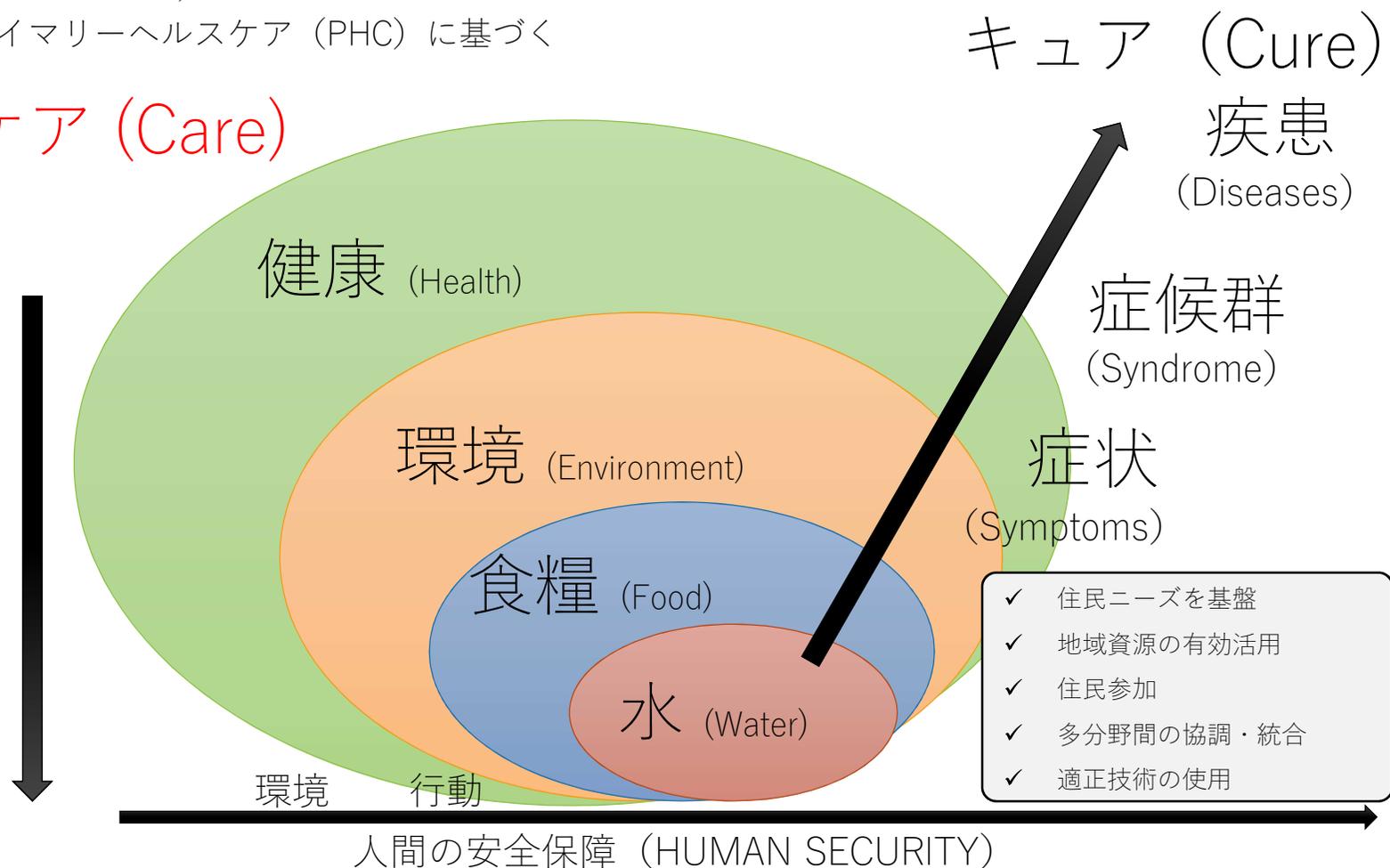
人々はリスクを抱えて生きています。今後、どのように適用し、共存していくかを検討する必要があります。看護においては、災害に備えるだけでなく、安全・安心を守ることが大である。

# 減災ケアモデル

(Kanbara et al. 2015)

プライマリーヘルスケア (PHC) に基づく

ケア (Care)

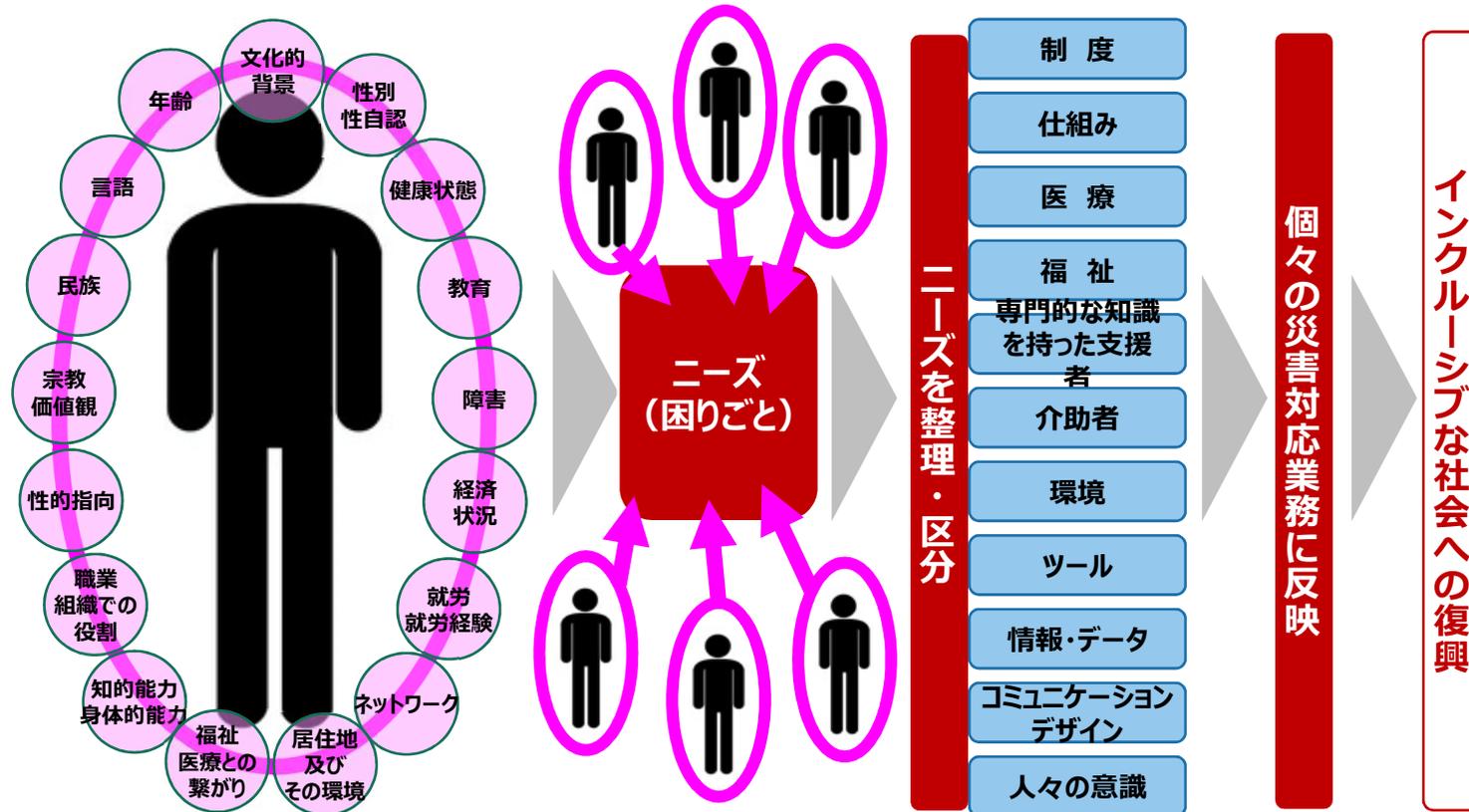


# 健康ニーズにみる「避難生活」の課題 刻々と変わる健康とケアニーズ

- 安否
- 水：飲み水はあるか？
- 食料：食料は確保できたか？
- トイレ： 清潔なトイレに無理なくいけているか。
- 日常必需品が使えているか？
- 生活衛生（睡眠・居住スペース・治安）： ガス・水道・電気は使えるか？  
安心して寝られるか？
- 衣類・お風呂・シャワー・歯磨きなど
- 健康状態・医療：持病・常用薬・運動 食事バランス・ストレスなど  
体調を崩していないか。
- 情報発信（手紙・電話・SNSなど）：情報を入手できるか？

誰が  
いつ  
どのように  
ケアするのか？

配慮すべき人のニーズを区分して対応を考え、災害対策業務に反映すべし



< 要配慮者の課題 >

具体的な課題

- ・ 誰に
- ・ どのようなフェーズで
- ・ どのような課題が

- ・ マイタイムライン
- ・ Personal Plan
- ・
- ・
- ・

社会の意識  
人々の意識  
要配慮者の意識

< 課題解決の方向性、可能性 >

避難や避難生活を支援する人の再配分、確保、養成すれば...

災害時の生活の環境を改善できれば...

要配慮者に伝わる情報ツールを確保、開発すれば...

要配慮者へのコミュニケーションを工夫すれば...

要配慮者の暮らしや災害時のリクエストを知っておけば...

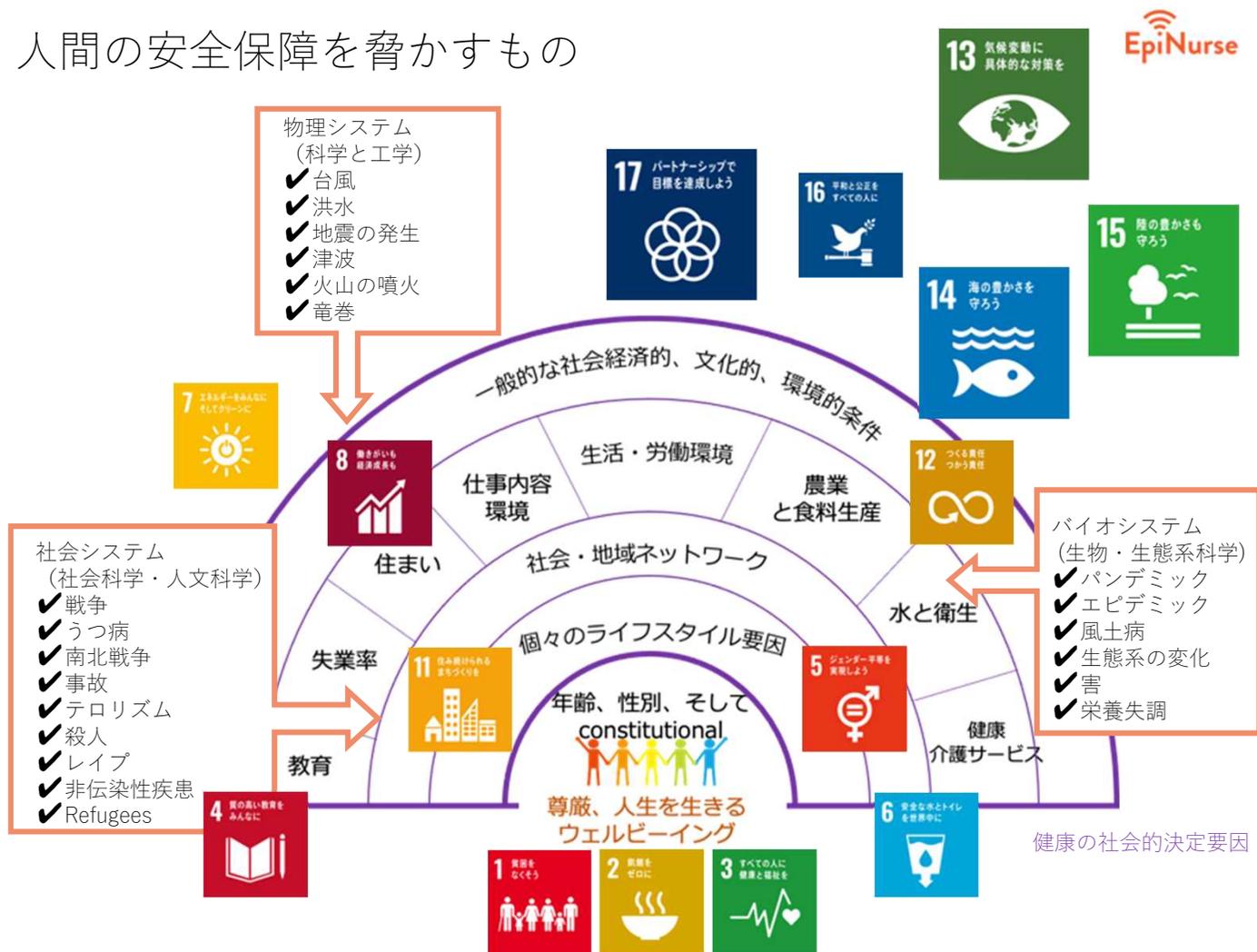
要配慮者と友達になっておけば...

災害時に要配慮者と医療をつなぐ仕組みを知る、つくっておけば...

- 環境
- ツール
- 情報
- コミュニケーション
- 介助者
- 医療
- 保健
- 制度
- 仕組み

携わる人の立ち位置でソリューションは変わるし多様

# 人間の安全保障を脅かすもの



# 私たちが養成するナースの社会的意義・価値



地球上の市民  
= プライマリヘルスケア (PHC)の原点の担い手

# The 8th International Research Conference of World Society of Disaster

【会 期】 2024年11月29日（金）～30日（土）  
12月1日（日） エクスカーション（オプション）

【会 場】 神戸市看護大学（神戸市西区学園西町3丁目4番地）  
JR新神戸駅から約35分、関西国際空港から約2時間10分

【会議日程（案）】  
11月29日（金） ワークショップ、看護大見学など  
11月30日（土） メインセッション（基調講演）  
分科会パラレルセッション（提案型）  
懇親会

12月1日（日） エクスカーション（オプション）

【参加予定者数】 現地：国内外より約200名 （+  $\alpha$  : オンライン視聴

ねむれないとき やってみて! #ウクライ...  
<https://www.tiktok.com>

 EpiNurseU  
 一緒にTikTokしよう! アプリを...



**眠れない時に  
日本人がやってること**  
 @epinurseu **Поради для  
доброго сну в Японії**

@EpiNurseU  
 ねむれないとき やってみて! #ウクライ...  
 ナ難民 #ウクライナ防災 #Ukraine  
 #Україна #ウクライナ #おすすめ  
 🎵 オリジナル楽曲 - EpiNurseU

ねむれないとき やってみて! #ウクライ...  
<https://www.tiktok.com>

 EpiNurseU  
 一緒にTikTokしよう! アプリを...



**ツボを押す  
マッサージ**  
**akupunkturних точок**

@EpiNurseU  
 ねむれないとき やってみて! #ウクライ...  
 ナ難民 #ウクライナ防災 #Ukraine  
 #Україна #ウクライナ #おすすめ  
 🎵 オリジナル楽曲 - EpiNurseU



しかし、美しい人がたくさん咲けばWellbeingも保たれ広がり、  
地球はきれいなままです。

家で働きながら、神戸で一般社団法人「EpiNurse（エピナース）」の代表  
護士（Nursing）を組み合わせた方法論を地域の防災・減災で実践する活  
2人と一緒に高知に赴任していましたが、新型コロナウイルス感染症（CO  
小学校に上がるタイミングで、自宅のある神戸にも拠点を置くことにしま



高知県立大学特任教授・神原英子氏

り、社会適応するのが難しくなると、人生においてのストレスを浴びるこ  
とだけが災害時に必要な医療ではないですね。自分がいつ被災地の近くに  
自分が働いている医療機関の周りが被災した時に、患者がどのように変わる  
VID-19や気候変動、環境問題などもありますし、社会もどんどん変わってい  
る医療は何かを常に更新していく必要があるでしょう。

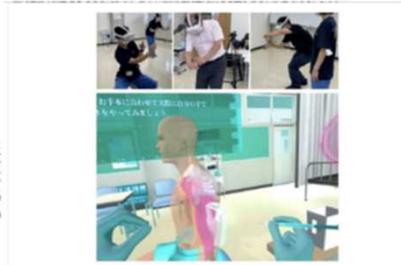


高知県立大学で講義する神原氏（神原氏提供）

配が拡大する中、「COVID-19流行下における水害発生時の防災・災害対策

「まじくア」は、人々がどこに行けば何が出来るのかがある各系一ツルサイトです。災害時には、第三者が  
をマッピングしますが、被災者にとってはトイレの場所が分かる方が助かります。ですから、トイレ  
所、商店、薬局などの位置が地図上で分かるようにしました。その後「まじくア」と改称し、長野市や岡  
野市など自治体などと連携を続けています。

「まじくア」は、人々がどこに行けば何が出来るのかがある各系一ツルサイトです。災害時には、第三者が  
をマッピングしますが、被災者にとってはトイレの場所が分かる方が助かります。ですから、トイレ  
所、商店、薬局などの位置が地図上で分かるようにしました。その後「まじくア」と改称し、長野市や岡  
野市など自治体などと連携を続けています。



災害もCOVID-19もそうですが、自然から来た人間は何をしても自分から守れないことが多いです。避難の  
でも、中傷にわたる避難生活では、外部支援はそもそも求めてできませんよ。避難所や仮設住宅といっ  
まする事は、信頼関係がないとボランティアも入れません。だから、住民が自分たちでボランティアも入る  
り込んでいく必要があると思います。2012年に高知県立大学に赴任した際は、住民と一緒に災害時の避難  
マニュアルを作るなどの活動もしています。



高知県立大学特任教授・神原英子氏



**Urban Innovation KOBE**  
スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題プロジェクト

CITY.KOBE.LG.JP

神戸市：スタートアップと神戸市が協働する、国内自治体初の地域課題解決プロジェクト 令和3年度下半期「Urban...